

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。大分県内の農林水産業の中から選りすぐりの話題を大分県拠点からお届けします。

大分☆農・カーボンプロジェクト 第7回勉強会を開催しました！

令和5年7月5日（水）
大分県土地改良会館



第7回勉強会は、「有機農業の先進地 宮崎県綾町の取組から学ぼう！」をテーマに開催しました。今回は綾町役場で有機農業振興担当の小八重志保（こばえしほ）氏をお迎えして、綾町の取組を講演いただきました。参加者からは先進地の取組が聞いてよかった、綾町住民の意識の高さに驚いた、などそれぞれの今後の方向性の参考になったとの声が多く寄せられました。

その後の意見交換はワールド・カフェ方式でメンバーをシャッフルしながら行い、アンケートでは、時間が足りないとの声も多くありましたが、様々な立場の方の意見が聞いてよかった、多くの新たな出会いがあった、とても学びの多い時間であった、など貴重な経験になったという感想を多くいただきました。



綾町 小八重係長

「元町長のリーダーシップ、町民の理解、流通業界の協力などに支えられて、全国から注目される今の綾町がある」と講演されました



6班に分かれ、メンバーもシャッフルして3回の意見交換を行いました



エシカル消費に関して、たくさんのアイデアを出していただきました



各班の意見のとりまとめと個人の感想を発表していただきました。県外から移住してきた生産者さんは、なぜか「おおいたさいこー！」の一声がお約束になっていました



ご参加の皆さん、大変ありがとうございました

第9回農政懇話会を開催しました

令和5年7月7日（金）
大分県拠点 中会議室



「現場と農政を結ぶ」業務の一環として、マスコミ各社への情報提供と現場意見の反映を目的に「第9回農政懇話会」を開催しました。県拠点から、現在広く意見を募集している「食料・農業・農村基本法」の検証・見直しについて、また独自の取組である「大分☆農・カーボンプロジェクト」のほか、事前にマスコミの方から質問が寄せられていた新規就農者対策、口蹄疫などの話題を中心に情報提供を行い、その後意見交換を行いました。

農業者等との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

大分県立農業大学の学生との意見交換

大分県立農業大学校（豊後大野市）
令和5年6月28日



大分県立農業大学校の学生50名との意見交換を実施しました。県拠点から、食料・農業・農村基本法の検証の中間とりまとめ、みどりの食料システム戦略について説明し、学生からは「肥料の自給に取り組むべき」、「持続的な農業・食品産業のため適正な価格形成の仕組み、情報提供などが必要」、「需要に応じた生産が必要」などの意見が出されました。



過去から受け継いだ本物の良さに触れてほしい

七島藪工房ななつむぎ（国東市）
令和5年6月21日



特産品の「七島い（しちとうい）」を使った工芸品の製作に取り組んでいます。七島いは畳表の材料となるもので、国東半島地域のみで生産され、地理的表示保護制度（GI）登録もされています。今ではわずかとなってしまった生産農家さんが残っているよう、廃業された方から希少な織機を買い取ったり、様々な場所でワークショップを開催するなど、七島いの価値を維持し高める活動にも力を注いでいます。



人と土を近づけ、都会でも土を感じてもらいたい

ほおのき畑 林田真人、里美夫妻
（由布市）
令和5年6月14日



10年前に一般の企業から就農し、有機農業に取り組んでいます。野菜をモノとしてとらえるのではなく、由布市で生産された野菜をセットにして、家庭に届けることにより、季節や都会では感じられない土を感じてもらい、お客さんに変化や楽しみをもたらすことができたらいいなと思います。



【発行元】九州農政局大分県拠点地方参事官室
【連絡先】〒870-0047 大分市中島西1-2-28 TEL 097-532-6131

大分県拠点HPではこの他の意見交換の様子もご覧いただけます。

大分農政

